

ミヤコカブリダニ剤
農林水産省登録第22232号



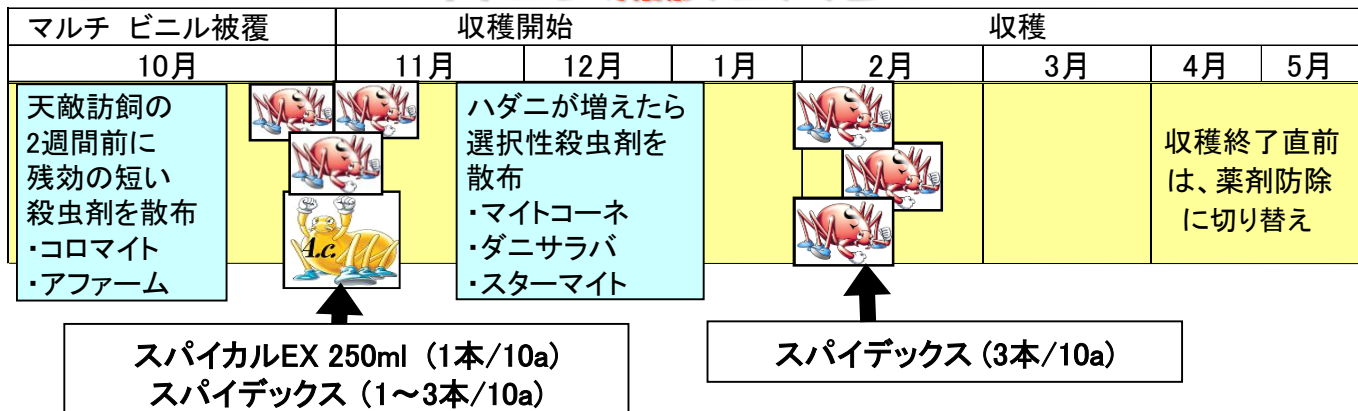
250ml

チリカブリダニ剤
農林水産省登録第21685号



100ml

< イチゴでの防除プログラム >



失敗しないためのポイント!

- ✓天敵の導入前に、薬剤を散布して、ハダニの密度を限りなくゼロにしておく(ゼロ放飼)。但し、有機リン剤や合成ピレスロイド剤を使用しない。
- ✓天敵は生き物なので、到着後ただちに放飼し、保存しない。
- ✓天敵はムラのないようにできるだけ多くの箇所に放飼し、特に高設栽培では均一に細かく行う。
- ✓天敵は注文してから納入まで1~2週間かかるので、防除計画をしっかりと立ててから導入する。
- ✓天敵放飼後は影響のある薬剤を使用しない。
- ✓天敵放飼直前や放飼後すぐにハダニの発生が見られる場合(ゼロ放飼ができていない場合)はマイトコーネまたはダニサラバを、放飼から3~5日後に散布する。
- ✓スパイカルEX 1本と スパイデックス(1~3本/10a)を年内に同時放飼すると、より効果的。

<ハダニ以外の害虫防除(いちご)>

◆アブラムシ類の防除

- ✓天敵放飼前はモスピラン顆粒水溶剤(または粒剤)、バリアード顆粒水和剤で防除(アザミウマとの同時防除)。
- ✓天敵導入後は、チェス顆粒水和剤、ウララDFを散布(天敵に影響少ない)。
- ✓粘着トラップ『ホリバー イエロー』を50枚/10a 施設内に設置。

◆アザミウマ類(スリップス類)の防除

- ✓天敵放飼の1~2週間前にアフアーム乳剤を予防散布(ヨトウ類との同時防除)。
- ✓天敵放飼前はモスピラン顆粒水溶剤などで防除(アブラムシとの同時防除)。
- ✓ハウスのサイドを閉めきる12月中旬頃にベネビアODを予防散布してアザミウマの年越しを防ぐ。
- ✓2~3月にマッチ乳剤などを予防散布する。散布はスパイデックスの追加放飼前に行うと影響が少ない。
- ✓4月以降は、アザミウマ類の防除を優先し、カブリダニに影響がある薬剤(スピノエース顆粒水和剤やモスピラン顆粒水溶剤など)も利用する。
- ✓粘着トラップ『ホリバー ブルー』を100枚/10a 施設内に設置。

<カブリダニに対する薬剤の影響(いちご)>

対象病害虫	影響の少ない殺虫剤	若干影響ある殺虫剤	影響のある殺虫剤
ハダニ類	マイトコーネ、ダニサラバ、スターマイト、カネマイト(薬害注意)	アカリタッチ、粘着くん、エコピタなど気門封鎖剤(直接かかれれば影響あり)	コロマイト、サンマイト、ダニロン、アフアーム、コテツなど
アブラムシ類	チェス、ウララ、ベネビアOD	モスピラン、バリアード	アーデントなど
アザミウマ類	マイコタール、ポタニガード水和剤、ベネビアOD、マッチ	モスピラン、スピノエース	アーデントなど
ヨトウ類	プレオ、ベネビアOD、プレバソン、フェニックス、ノーモルト	スピノエース	アフアーム、アニキ

スパイデックス®の容器が新しくなりました！



新ボトルと
ワンタッチ
キャップ

注) 旧容器より出やすくなっていますので、ご注意ください。



ボトル1本で振れる回数の目安は約200回
(社内試験では180~240回)です。

左: 旧ボトルの1回の放飼量
右: 新ボトルの1回の放飼量

スパイカル EX・スパイデックス の放飼方法

<放飼のポイント>

- ・ムラのないように、できるだけ多くの箇所に均一に放飼してください。
- ・放飼途中で不足しないように注意が必要です。軽く振って2周するくらいの気持ちで！

1. 放飼前

- ☑ カブリダニは容器内に偏在しています。到着から放飼までは横向きに置いてください。
- ☑ 放飼直前にゆっくり10~20回転させて、カブリダニが均一になるようにしてから放飼します。(→右図)



2. 放飼準備

共通

減り具合をチェックできるようにマジック等でボトル側面に4等分程度の目盛り線を書きます。



※初めて使用する方はボトルの側面に線を引いて、放飼量の目安にしてください。多少余らせて、入口周りなどに重点的に放飼してください。

スパイカルEX



i) フタの真ん中にある切り込み線の入った小窓部を指で押し、フタを開けて小窓片を取り除きます。



ii) 中央部に窓の開いたフタをボトルに取り付けて放飼します(350~400回放飼できます)。

スパイデックス



i) ワンタッチキャップの上部を上を開きます。

ii) キャップ中央部の穴を斜め下向きに構えて、作物上に振りかけます(180~240回放飼できます)。

放飼後は、フタ/キャップを外してボトルを株元に静置します。



3. 放飼方法

- ☑ 栽植本数が多い場合は振る力やボトルの角度を加減して回数を増やしてください。
- ☑ 一振りずつ全体的に、可能な限り多くの株に振りかけます。
- ☑ 最初は少なめに振り、余ったらハダニ発生箇所の多い場所に重点的に放飼してください。

4. 放飼後

- ☑ 余った場合は、害虫の発生しやすい場所に重点的に撒いてください。
- ☑ 放飼後は、フタ/キャップを外してボトルを株元に横向きに静置してください。残ったカブリダニが歩いて外に出て行きます。

1.5~2.0m間隔で交互に放飼する。
2条植えでも、片方の株に放飼すればOK



「アリスタ | IPM通信」は、主に天敵農薬に関する情報を定期的にお届けします。配信をご希望の方は、弊社ホームページよりお申し込みをお願い申し上げます。

IPM通信

検索